

平成 22 年度当初予算 施策別概要

5 1 2 県境を越えた交流・連携の推進

(主担当部：政策部)

- 51201 中部・近畿圏との交流ネットワークの形成 (政策部)
- 51202 近隣府県等との連携強化 (政策部)

< 施策の目的 >

(対象) 三重県と近隣府県等が

(意図) 県境や圏域を越えた交流・連携によって課題の解決に向けて取り組んでいる

< 施策の数値目標 >

施策目標項目 (主指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
近隣府県等との間で新たに実施する交流・連携事業の数 (累計)	目標値	-	3	6	12	15
	実績値	-	4	9		

知事会議等の機会を活用して、三重県が近隣府県等との間で検討・協議を進め新たに実施するにいたった、県境を越えた地域間の交流や政策課題の解決のための事業数の累計 (政策部企画室調べ)

施策目標項目 (副指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
三重県提案により近隣府県等との間で新たに実施する交流・連携事業の数 (累計)	目標値	-	1	2	3	4
	実績値	-	1	2		

< 進捗状況 (現状と課題) >

- ・ 近隣府県と連携して新たな共同事業に取り組むなど、一定の成果が上がってきていますが、防災・環境対策など県単独では解決することが難しい課題が増えてきており、より効果的、効率的に課題を解決し県民サービスの向上をはかるため、広域交流・連携の取組をさらに進める必要があります。
- ・ 関西 2 府 8 県 4 政令市と経済団体で組織する関西広域機構において、防災や観光などの分野で広域的に事務に取り組む特別地方公共団体である関西広域連合 (仮称) の設置に向けた議論が進んでいます。

< 平成 22 年度の取組方向 >

中部・近畿、環伊勢湾、紀伊半島地域などの関係する府県、経済界等多様な主体との協働を進め、交流連携の拡大に取り組めます。

中部・近畿については、両圏域の知事会や関西広域機構等に積極的に参画するとともに、国土形成計画広域地方計画のフォローアップ作業等を通して、中部圏と近畿圏の広域交流、連携強化を進めます。

環伊勢湾については、引き続き東海三県一市の連携を強化するとともに、伊勢湾に関係する国、地方公共団体等の機関で構成する伊勢湾再生推進会議に積極的に参画し、伊勢湾の保全と再生に向けた取組を進めます。

紀伊半島地域については、地域の持つ豊かな自然や歴史、文化資源を生かした地域振興、類似する地理的条件による課題への対応などに、共同して取り組みます。

関西広域連合（仮称）について、現時点において本県が広域連合に参加する必要性やメリットを見出すことが難しく、設立当初から広域連合の構成団体となることを見送ることとしました。なお、関西における広域連携の取組については今後とも円滑に進めていく必要があることから、広域課題について各府県との連携を維持していくとともに、設立後の広域連合と一定の関わりを持つなど対応していきます。

<主な事業>

近畿・中部交流ネットワーク推進事業

【基本事業名：51201 中部・近畿圏との交流ネットワークの形成】

（第2款 総務費 第2項 企画費 1企画調整費）

予算額：(21) 6,881千円 (22) 6,794千円

事業概要：中部圏、近畿圏における広域連携の推進のため、各ブロック知事会等に参画し、連携事業や国への政策提言活動等を行います。

広域連携推進事業【基本事業名：51202 近隣府県等との連携強化】

（第2款 総務費 第2項 企画費 1企画調整費）

予算額：(21) 21,312千円 (22) 16,459千円

事業概要：環伊勢湾、紀伊半島などの関係する府県等と共同して、多様な分野にわたる交流・連携事業等に取り組みます。